

JTEKT

株式会社ジェイテクト

証券コード 6473



株主のみなさまへ

平成23年3月期報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

目次 Contents

株主のみなさまへ	01-02
連結決算ハイライト	01-02
新技術・新商品紹介	03
CSR – 企業の社会的責任	04
グローバル事業活動	05-06
連結財務諸表	07
単独財務諸表	08
株式の状況 / 株価の推移	09
会社の概要	10

株主のみなさまへ Top Message

平成23年3月11日に発生した東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申しあげますとともに、被災されましたみなさま、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

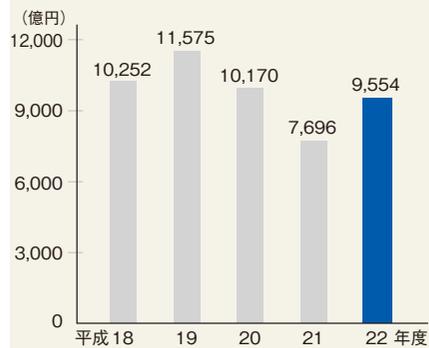
今回の震災に際しまして、当社グループでは被災者救助や被災地の復旧支援のために、義援金及び社員からの募金の寄付や支援物資の送付、工作機械の復旧サービスを実施してまいりましたが、今後もジェイテクトグループの総力を挙げ、復旧支援活動とともに、本業を通じて日本の復興に取り組んでまいります。

当期の世界経済は年後半に米国、中国経済の成長率が高まり、景気は着実に回復に向かっておりましたが、東日本大震災による世界的な生産減少や北アフリカ・中東での政情不安を背景とした原油価格の上昇により、不透明感が増してまいりました。日本経済においても、大震災による生産の縮小及び電力供給問題や円高の継続、資源価格の高騰など、先行きの見通しが困難な状況にあります。

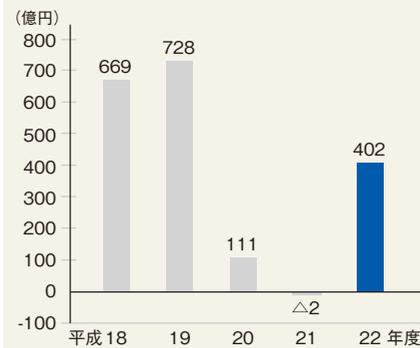
このような経営環境の中、当社グループでは平成20年秋の金融危機の反省を生かし、最盛期の7割の操業状況においても、安定して成果を出すことができる収益体質への変革を進めてまいりました。景気や為替変動の影響を最小化する収益基盤を確立するため

連結決算ハイライト Consolidated Financial Highlight

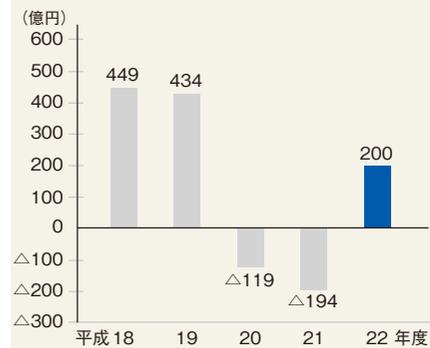
連結売上高



連結経常損益



連結当期純損益



に、製品を集約し生産能率を向上させるライン再編や重点分野への人員再配置、工程やサプライチェーンの短縮、部品の標準化・汎用化等の原価低減、コア技術の内製化による付加価値の向上等の様々な取り組みを着実に実施してまいりました。

当期の連結業績につきましては、年度前半まで日本で実施された景気刺激策及び中国、東南アジア、北米を中心とした景気の回復により、売上高は9,554億70百万円と前期に比べ、1,857億87百万円、率にして24.1%の増収となりました。利益につきましては、急激な円高の影響はありましたが、売上の増加に加え、購入品価格の改善、労務効率の改善などの原価低減活動に取り組んだ結果、営業利益については399億24百万円と前期に比べ394億99百万円の増加となりました。経常利益については402億63百万円(前期は2億52百万円の損失)、当期純利益については200億52百万円(前期は194億13百万円の損失)となり、3期ぶりに各利益がプラスになりました。

期末配当金につきましては、1株につき9円とさせていただきます。その結果、年間配当金は1株につき16円(中間配当金は1株につき7円)となりました。



取締役会長

横山元孝



取締役社長

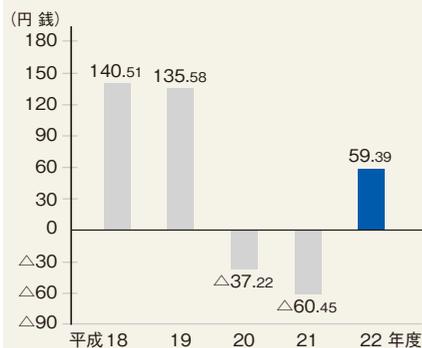
井川正治

当社グループといたしましては、日本のモノづくり復興に向けた取り組みはもとより、中期的にはさらなる強固な経営体質を構築するために、お客様第一を基本とした安全と品質・納期の徹底、外部環境変化に対応し、安定した成果を出す収益体質への変革、お客様に感動をお届けできる商品開発等、多様な技術領域を持つグループの総力を結集して全力で取り組んでまいります。また、様々なリスクに対するマネジメント体制を強化してまいります。

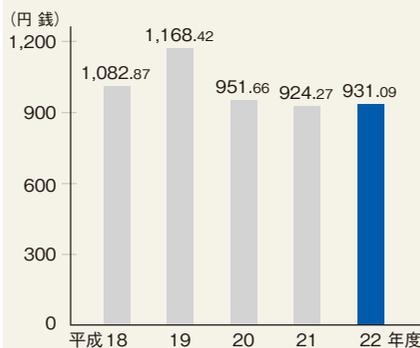
株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

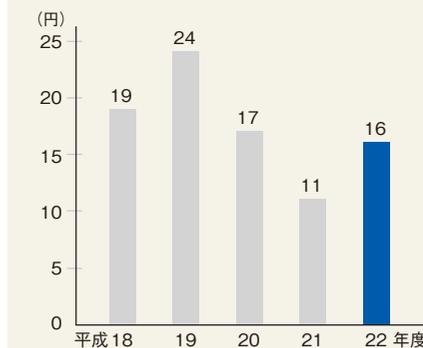
1株あたり当期純損益



1株あたり純資産



1株あたり配当金



レクサス LFAラインオフ式でプロジェクト表彰受賞

トヨタ自動車株式会社の元町工場ですーパースポーツ車「レクサス LFA」のラインオフ式典が開催され、レセプションにて当社の「トルクチューブASSY」がプロジェクト表彰を受賞しました。

「レクサス LFA」には当社のC-EPS(コラム式電動パワーステアリング)やトルセンなど多数の製品が搭載されており、車両開発への総合的な貢献が認められました。



ラインオフ式典

電子制御4WDカップリングの適用範囲の拡大

当社が量産している電子制御4WDカップリング(以下:ITCC※1)を、4WD車のリヤデフに2個搭載することにより、通常の4WD制御(前後輪の駆動力の配分)に加えて、後輪左右の駆動力を制御することが可能となり、ITCCの活用範囲が広がりました。ITCCの特長である「小型で優れた耐久性と静粛性」と4WD車への搭載実績、信頼性が評価され、日産自動車株式会社が開発したトルクベクトル制御ユニット(後輪左右の駆動力制御)に採用、「ジューク」に搭載されています。

※1: 電子制御4WDカップリング Intelligent Torque Controlled Couplingの略
ITCCは株式会社ジェイテクトの登録商標です。



ITCCと制御ユニット



ベアリングの入門書「図解入門 よくわかる 最新 ベアリングの基本と仕組み」を刊行

2011年2月に、ベアリングの入門書「図解入門 よくわかる 最新 ベアリングの基本と仕組み」を刊行しました。

本書は、ベアリングの言葉の意味から始まり、役割、歴史、構造、寿命、製造工程などを紹介しています。各ページには写真や図などを用いてベアリングの構造や取り付けなどを解りやすく、また、ベアリングの構造、用途のみならず、ベアリング損傷の代表例やその原因と対策も合わせて紹介しています。

本書を通じて、あらゆる産業界で活躍し「産業の米」といわれ、現代文明を支えるベアリングを、幅広く伝えてまいります。

環境保護

「かめやま会故(エコ)の森」に参画

亀山工場(三重県亀山市)では、亀山市が市民の方々とともに推進している「かめやま会故(エコ)の森」環境整備活動に参画しています。この活動では下刈り作業や歩道整備といった森づくり体験のほか、木工教室、自然観察会などの家族で楽しめる企画も行われています。



参加者で集合写真

人づくり

ソーラーカーで課外授業を実施

次世代を担う子供たちに太陽エネルギーで自動車が動くしくみを体験してもらうため、大阪府の柏原市立国分東小学校で児童約40人にソーラーカー課外授業を行いました。



課外授業の様子

地域貢献

親睦を深める「工場フェスティバル」

社員と家族、地域のみなさまの日頃の事業活動へのご理解に感謝するため、毎年、各工場が企画・開催し、社員による模擬店販売などを行っています。2010年度は10工場で開催し、のべ1万6,000人の参加がありました。



岡崎工場 恒例ラムネ一気飲み大会



花園工場 地元学生による和太鼓演奏



東京工場 子供たち参加のミニゲーム



徳島工場 追突衝撃体験コーナー

東日本大震災

～ジェイテクトグループの支援状況～

被災地の救助活動・復旧・復興のため、ジェイテクトとジェイテクトグループでは次の支援を行いました。

●被災地域への支援

- ・ジェイテクトグループとして、義援金7,000万円を寄付
- ・ジェイテクト役員、社員による募金(総額約1,133万円)
- ・日本経済団体連合会の1%クラブを通じて、被災地に支援物資を送付(食料、マスク、使い捨てカイロなど)

●お客様への支援

被災されましたお客様の生産復旧支援として、工作機械のサービス要請を24時間体制で受付け、生産復旧のための支援を行っています。

グローバル事業活動 Global Network

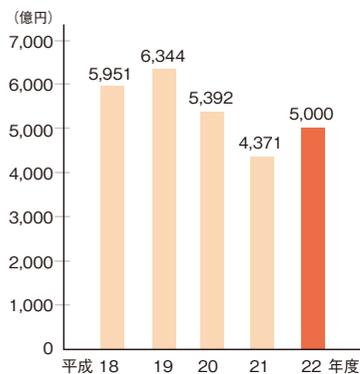
連結会社 **135社**
 持分法適用会社 **20社**
 従業員数 **36,775名**



日本

連結会社 **41社**
 持分法適用会社 **6社**
 従業員数 **15,915名**

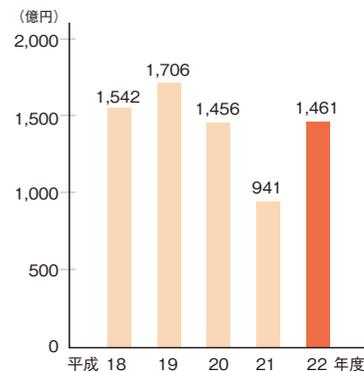
■地域別売上高の推移



北米

連結会社 **17社**
 従業員数 **4,469名**

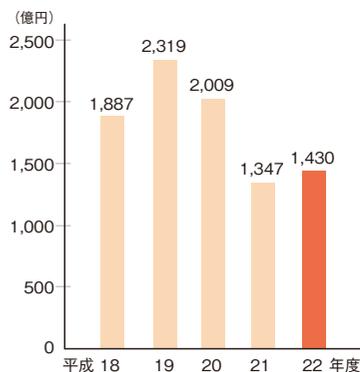
■地域別売上高の推移



欧州

連結会社 **26社**
 持分法適用会社 **3社**
 従業員数 **7,513名**

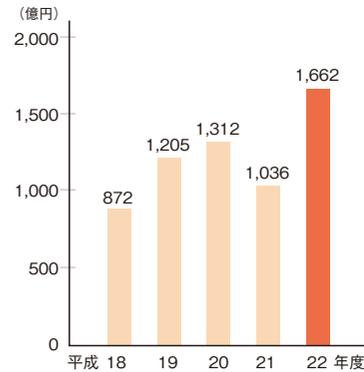
■地域別売上高の推移



アジア・オセアニア・その他

連結会社 **51社**
 持分法適用会社 **11社**
 従業員数 **8,878名**

■地域別売上高の推移



Global Topics

新興国で電動パワーステアリング(EPS)の供給体制を強化

中国のEPS生産拠点で新工場を建設

中国福建省でEPSを生産しているJTEKT STEERING SYSTEMS (XIAMEN) Co. Ltd(JSSX)の新工場を建設します。自動車市場が急成長している中国においても、燃費効率に優れたEPSが普及すると見込まれており、生産能力を大幅に増強します。また、JSSXは中国の国家安全生産監督管理総局から、「国家安全1級認証」を取得しました。安全に優れたモデル工場として、中国の労働環境の改善にも貢献してまいります。



JSSX起工式

インド南北でEPS供給体制を拡充

インドでEPSを生産しているJTEKT SONA AUTOMOTIVE INDIA LTD. (JSAI)は、北部のグルガオン、南部のチェンナイ、バンガロールの3拠点で供給する体制を構築しました。現地に根ざした企業として、インドでのステアリングシェア50%超を目指してまいります。



JSAI開所式(ココナッツ割)



JSAI開所式(鏡開き)

電動システム開発センター発足式

～電動システムユニットメーカーの

リーディングカンパニーを目指して～

当社は、電装品の技術開発力強化のため、2011年1月1日付けで、本社直轄組織の「電動システム開発センター」を新設しました。今後、モータ、ECUを一体化する「機電一体」構造のEPSの開発や次世代電動ポンプなど、地球温暖化防止やエネルギー問題の解決に貢献する商品をお客様にご提案してまいります。



発足式

連結貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

科目	金額
資産の部	
流動資産	461,880
現金及び預金	68,679
受取手形及び売掛金	169,597
有価証券	49,032
棚卸資産	130,998
その他	44,555
貸倒引当金	△982
固定資産	380,339
有形固定資産	290,326
機械装置及び運搬具	134,773
その他	155,553
無形固定資産	8,412
投資その他の資産	81,600
資産合計	842,220

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円)

科目	金額
負債の部	
流動負債	313,183
支払手形及び買掛金	152,164
短期借入金	63,692
その他	97,317
固定負債	192,949
社債	40,000
長期借入金	83,923
その他	69,026
負債合計	506,133
純資産の部	
株主資本	348,483
資本金	45,591
資本剰余金	108,237
利益剰余金	195,035
自己株式	△381
その他の包括利益累計額	△30,132
その他有価証券評価差額金	9,356
為替換算調整勘定	△39,488
少数株主持分	17,735
純資産合計	336,086
負債及び純資産合計	842,220

連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位 百万円)

科目	金額
売上高	955,470
売上原価	811,470
売上総利益	143,999
販売費及び一般管理費	104,074
営業利益	39,924
営業外収益	7,001
営業外費用	6,663
経常利益	40,263
特別利益	3,680
特別損失	10,734
税金等調整前当期純利益	33,209
法人税等	10,290
少数株主損益調整前当期純利益	22,918
少数株主利益	2,866
当期純利益	20,052

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位 百万円)

科目	金額
資産の部	
流動資産	260,811
固定資産	374,100
有形固定資産	136,821
無形固定資産	2,459
投資その他の資産	234,819
資産合計	634,911
負債の部	
流動負債	209,659
固定負債	135,922
負債合計	345,582
純資産の部	
株主資本	280,616
資本金	45,591
資本剰余金	108,230
利益剰余金	127,137
自己株式	△343
評価・換算差額等	8,713
その他有価証券評価差額金	8,713
純資産合計	289,329
負債及び純資産合計	634,911

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位 百万円)

科目	金額
売上高	547,103
売上原価	493,936
売上総利益	53,166
販売費及び一般管理費	44,307
営業利益	8,859
営業外収益	11,207
営業外費用	2,983
経常利益	17,083
特別利益	43
特別損失	4,674
税引前当期純利益	12,452
法人税等	1,850
当期純利益	10,602

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

期末配当金について

平成23年6月28日開催の第111回定時株主総会において、平成23年3月31日最終の株主名簿に記録された株主もしくは登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当を支払うことを決議いたしました。

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 期末配当金 | 1株につき9円 |
| 2. 効力発生日および支払開始日 | 平成23年6月29日 |

株式の状況

Stock Information (平成23年3月31日現在)

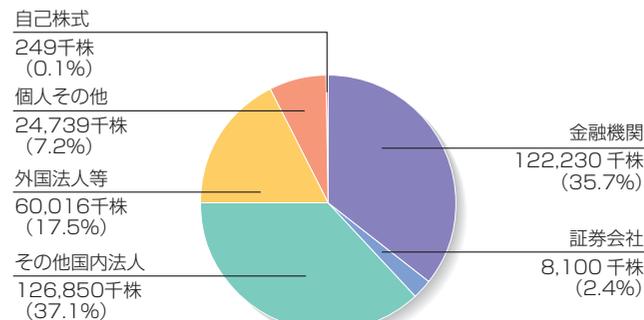
1. 株式の総数	発行可能株式総数	1,200,000千株
	発行済株式の総数	342,186千株

2. 株主数	21,180名
--------	---------

3. 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)
トヨタ自動車株式会社	77,235
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	25,079
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,312
株式会社デンソー	18,371
日本生命保険相互会社	12,361
株式会社豊田自動織機	7,813
株式会社りそな銀行	6,749
住友信託銀行株式会社	6,729
株式会社三井住友銀行	6,366
全国共済農業協同組合連合会	6,327

4. 所有者別分布状況 (発行済株式の総数に対する割合)



株価の推移



会社の概要 Company Profile

商号(社名)	株式会社ジェイテクト JTEKT CORPORATION	資本金	45,591百万円<平成23年3月31日現在>
本店所在地	大阪市中央区南船場三丁目5番8号	売上高	955,470百万円<平成23年3月期(連結)> 547,103百万円<平成23年3月期(単独)>
本社所在地	名古屋本社 名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 大阪本社 大阪市中央区南船場三丁目5番8号	従業員数	36,775名<平成23年3月31日現在(連結)> 9,906名<平成23年3月31日現在(単独)>
電話番号	名古屋本社 052-527-1900 大阪本社 06-6271-8451		

取締役及び監査役 (平成23年6月28日現在)

取締役会長	横山元彦	常務取締役	角井隆一	常勤監査役	榎本真丈
取締役社長	井川正治	常務取締役	北村昌之	常勤監査役	藤井博一
取締役副社長	鈴木隆昭	取締役	内山田竹志	監査役	深谷紘一
専務取締役	河上清峯			監査役	新美篤志
専務取締役	島谷均			監査役	小林正明
専務取締役	井坂雅一				

執行役員 (平成23年6月28日現在)

常務執行役員	松本久	執行役員	瀧井裕一	執行役員	厚海敏幸
常務執行役員	村瀬昇也	執行役員	上川正樹	執行役員	牧野一久
常務執行役員	仲村元靖	執行役員	植竹伸二	執行役員	小西義和
常務執行役員	奥田哲司	執行役員	宮崎博之	執行役員	伊井浩
常務執行役員	中野史郎	執行役員	辻義央	執行役員	竹岡伸高
執行役員	貝嶋博幸	執行役員	荒木恵司		
執行役員	久米敦	執行役員	森豊		
執行役員	堀内雄介	執行役員	大村秀一		
執行役員	新井東	執行役員	山本勝巳		
執行役員	高橋伴和	執行役員	島田和典		

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月
株主確定基準日 (1)定時株主総会・期末配当金3月31日
(2)中間配当金 9月30日
その他必要のあるときは、あらかじめ公告して
基準日を定めます。

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
http://www.jtekt.co.jp/ir/notification_h.html

上場証券取引所 東京、大阪、名古屋
株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10号
住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎0120-176-417
(インターネットホームページURL) [http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/
retail/service/daiko/index.html](http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html)

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の 受取方法のご指定等のお届出及びご照会について

- 株券電子化前に、証券会社等に口座をお持ちでなく、特別
口座が開設された株主様
左記の特別口座の口座管理機関である住友信託銀行株式
会社にお申出ください。
- 証券会社等に口座をお持ちである株主様
お取引先の証券会社等にお申出ください。

未払配当金のお届出及びご照会について

左記の株主名簿管理人である住友信託銀行株式会社にお
申出ください。